

## ・活動概要

2021年度は、岐阜県美術館との共催による展覧会、IAMAS ARTIST FILE#07 「ウィデオー／からだと情報」の企画・運営に多くの力を注いだ。これはタイムベースドメディア・プロジェクトの取り組みのひとつだった。現代における映像表現を探究する3名をIAMASの卒業生から選出し、各種の調整を行いながら展覧会を実現した。

個人研究としては、WEBムービー・プロジェクト『BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW』を10年の時を経て、実施し、10年前の短編映像作品と見比べられる構成で発表した。このプロジェクトには14名の映像作家が参加し、それから生まれたオムニバス映画は、福島映像祭（ポレポレ東中野）、山形国際ドキュメンタリー映画祭に選出され、上映の機会を得た。また、第68回オーバーハウゼン国際短編映画祭（ドイツ）にも選出された。（上映は2022年5月の予定）

## ・企画・発表（タイムベースドメディア・プロジェクト）

IAMAS ARTIST FILE #07 ウィデオー／からだと情報

岐阜県美術館 2021.12.21 - 2022.03.06

出品作家：木村悟之 萩原健一 堀井哲史

企画：西山恒彦（岐阜県美術館）前田真二郎（IAMAS）

IAMAS ARTIST FILEは、岐阜県美術館とIAMASが2013年から2019年まで6回に渡って共催した展覧会であり、7回目となる本展では映像メディアによる表現を展開してきた3名のIAMAS出身のアーティスト 木村悟之、萩原健一、堀井哲史を紹介した。普段よく耳にする電子的な映像を表す「ビデオ」の語源は、ラテン語の「videō（ウィデオー）」であり、それには「私は見る」といった意味がある。映像表現のなかでも「からだと情報」の関係に着目した三人三様の「見る仕事」を展示した。コロナ禍のため積極的な広報活動はできなかったが、3ヶ月の会期中に2000人以上の来場があった。

2022年2月23日には、関連イベントとして「オンライン・アーティストトーク」を開催。出品作家3名を、それぞれの居住地である、石川県、秋田県、東京都を展覧会場と結び配信した。アーカイブ動画やレポートを特設サイトにまとめ、展覧会に寄せられた下記の批評文も公開した。

「上演」が明らかにする映像作品の意義  
秋庭史典（名古屋大学教授・美学芸術学）

「ウィデオー／からだと情報」展における三つの俯瞰イメージ  
佐原浩一郎（フランス哲学・美学）

## ・個人研究・発表／作品制作

### 【発表】

1.

WEBムービー・プロジェクト

BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW 2011-2021

2021.06 オンライン公開

<https://solchord.jp/byt/21/>

2021年2月、10年前の企画に参加した映像作家に再度制作を呼びかけたところ、COVID-19の状況や家族を主題としたもの、3.11を振り返る作品などが集った。サイトでは、14名それぞれの「ある1日」を、10年前の作品と合わせて視聴できる。それぞれの作品は前田が作成した指示書をもとに作成する5分の映像作品だ。

<出品作家>

有川滋男 五十嵐友子 池田泰教 石川多摩川 大木裕之 木村悟之 齋藤正和  
鈴木光 釜利子 中沢あき 西村知巳 林勇氣 本間無量 前田真二郎



2.  
第21回中之島映像劇場「美術館と映像—ビデオアートの上映・保存—」  
国立国際美術館 B1階講堂 2021.09.18,19

Bプログラムにて《VIDEO SWIMMER IN BLUE》が上映された。  
(1992年作品・国立国際美術館コレクション)  
当日の配布資料に「VIDEO SWIMMER IN BLUE アナログビデオの時代」を寄稿。

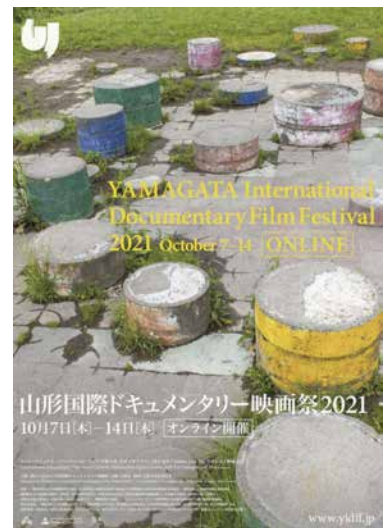


3.  
福島映像祭 2021  
ポレポレ東中野 2021.09.20

《BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW Omnibus March / April 2021》  
74min./FHD-digital/STERO/16:9/2021  
企画：前田真二郎  
監督：五十嵐友子、石川多摩川、池田泰教、大木裕之、木村悟之、齋藤正和、  
鈴木光、釜利子、中沢あき、西村知巳、林勇氣、本間無量、前田真二郎

4.  
山形国際ドキュメンタリー映画祭 2021  
オンライン 2021.10.10

《BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW Omnibus 2011/2016/2021》  
64min./FHD-digital/STERO/16:9/2021  
企画：前田真二郎  
監督：池田泰教、大木裕之、鈴木光、釜利子



5.  
展覧会ファルマコン2021「死生への捧げもの」  
アトリエみつしま 2021.12.21-25

キュレーター：大久保美紀  
出展作家：入江早耶、フロリアン・ガデン、ジェレミー・セガル、  
西脇直毅、堀園美、三輪眞弘+前田真二郎

三輪眞弘+前田真二郎 Highlights "Purified Night"(2021)

## 【作品制作】

1.  
日々“hibi” AUG 2021  
8min./FHD-digital/2021

8月の1ヶ月間、毎日撮影を行い、1日15秒の映像を選び、それをを順番に  
31カット繋げる映像作品『日々“hibi” AUG』を2008年からシリーズで  
制作している。14作目にあたる『日々“hibi” AUG 2021』を制作。

2.  
BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW #14 FACE MASKS  
5min./FHD-digital/2022

指示書をもとに制作する5分の短編映画。3部作としてまとめた、  
『BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW 20/21/22』と、  
9本を選んで編んだ『BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW 2008-2022』  
を制作。



Highlights "Purified Night"  
12min./FHD-digital/2021



BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW  
#14 FACE MASKS  
5min./FHD-digital/2022

## ・シンポジウム/トーク

1.  
シンポジウム：  
ポスト・ドキュメンタリー時代の表現について  
日本映像学会第47回大会（愛知県立芸術大学） 2021.06.05 \*オンライン

パネリスト：小田香、前田真二郎、越後谷卓司  
司会：関口敦仁

2.  
シンポジウム：  
メディア表現学会（仮称）：オンラインにおける表現とプラットフォームを「共集性」から考える  
主催 IAMAS Archival Archotyping 2021.07.22 \*オンライン

話題提供：岩城京子、藤木良祐、伊村靖子、三輪眞弘、前田真二郎、小林茂  
コメンテーター：小御門優一郎、高山明、クワクポリョウタ  
司会：松井茂

3.  
アフタートーク  
舞台公演『The Other Side - Sep.2021』  
京都芸術センター・講堂 2021.09.13

出演：伏木啓 秋庭史典 前田真二郎（\*オンライン出演）



『The Other Side - Sep.2021』アフタートーク

## ・運営

日本映像学会中部支部研究会を開催  
（中部支部理事として下記の研究会をコーディネート）

1.  
2021年度 | 日本映像学会 中部支部 | 第1回研究会  
日時：2021年10月17日（日）13時30分より  
会場：名古屋芸術大学東キャンパス1号館7階アセンブリーホール

2.  
2021年度 | 日本映像学会 中部支部 | 第2回研究会  
日時：2022年3月5日（土）13時30分よりオンライン開催  
担当校：愛知淑徳大学



## ・共同研究

（共同研究員として通年、下記の研究会に参加）

「システム内存在としての世界」についてのアートを媒介とする文理融合的研究  
京都大学人文科学研究所

三輪 眞弘（情報科学芸術大学院大学）班長  
伊村 靖子（情報科学芸術大学院大学）  
岩崎 秀雄（早稲田大学）  
佐近田 展康（名古屋学芸大学）  
前田 真二郎（情報科学芸術大学院大学）  
松井 茂（情報科学芸術大学院大学）  
山崎 雅史（株式会社NTTデータセキュリティシステムズ）  
岡田 暁生（京都大学）副班長  
瀬戸口 明久（京都大学）副班長  
佐藤 淳二（京都大学）  
藤井 俊之（京都大学）  
上尾 真道（京都大学）



IAMAS 在学によるLEDビジョン・コンテンツ  
サカエチカ クリスタル広場（名古屋市栄）

## ・社会活動

- ・LED. 実行委員会 運営委員
- ・日本映像学会中部支部理事 研究企画委員兼任
- ・ぎふ美術展企画委員
- ・岐阜市文化芸術推進審議会委員

